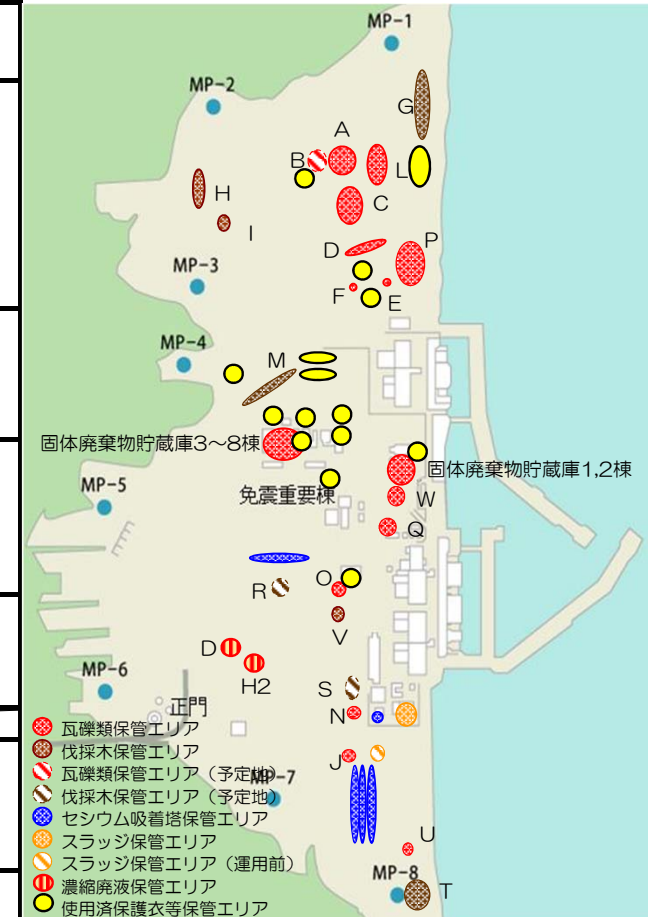


分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月		5月				6月			7月	8月	備考			
				24	1	8	15	22	29	5	12	19	26	上		中	下	
保管管理計画	3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 伐採木一時保管槽への受入(枝葉) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ガレキ等の将来的な保管方法の検討 線量低減対策検討 ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 伐採木一時保管槽への受入(枝葉) 	<p>検討・設計</p> <p>一時保管エリアの保管量、線量率集計</p> <p>ガレキ等の将来的な保管方法の検討</p> <p>線量低減対策検討</p>															
			<p>現場作業</p> <p>一時保管エリアの保管量確認、線量率測定</p> <p>ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続</p> <p>最新工程反映</p> <p>伐採木一時保管槽蓋締施工</p>															<ul style="list-style-type: none"> 伐採木一時保管槽(2槽)蓋締施工完了:2016年6月予定 6~9月保管槽へのチップ受入中断
			<p>検討・設計</p> <p>【研究開発】スラリー安定化装置の選定要件整理・適用試験(コールド)</p> <p>安定化装置の評価</p> <p>現場導入に向けた運用面等の検討</p> <p>最新工程反映</p> <p>脱水物の長期保管を想定した保管容器の要件検討</p> <p>【研究開発】セシウム吸着塔の長期保管</p> <p>試験・解析結果を踏まえた再分析、解析評価(治具改良、サンプリング、分析等)</p>															
処理・処分計画	5. 固体廃棄物の性状把握	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海等) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海等) 	<p>検討・設計</p> <p>【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査</p> <p>中長期計画策定を踏まえた次年度分析計画の検討</p>															
			<p>現場作業</p> <p>【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析</p> <p>固体廃棄物のサンプリング</p> <p>【研究開発】JAEAにて試料の分析(現場:JAEA東海等)</p> <p>PCV滞留水(2、3号機滞留水)の分析(γ核種、β核種、α核種、金属元素濃度)</p> <p>スラリー(高線量試料)の分析(α核種、β核種、γ核種、金属元素濃度)</p> <p>スラッジ(1号機T/Bスラッジ試料)の分析(α核種、β核種、γ核種)</p> <p>最新工程反映</p> <p>オペフロ採取ガレキ(1号機)の分析(α核種、β核種、γ核種)</p>													<ul style="list-style-type: none"> 高線量試料は、HICのたまり水調査時(一定期間放置後)に採取したものの 		
			<p>検討・設計</p> <p>認可申請準備(第1棟)</p> <p>現場作業</p> <p>敷地内除染・伐採作業</p>															
処理・処分計画	6. JAEA分析・研究施設の整備(施設管理棟、第1棟、第2棟)	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内除染・伐採作業 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内除染・伐採作業 	<p>検討・設計</p> <p>認可申請準備(第1棟)</p>															
			<p>現場作業</p> <p>敷地内除染・伐採作業</p>															<p>最新工程反映</p> <p>施設管理棟建設工事</p> <p>2017年度竣工予定</p>

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2016.4.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量※1	前回報告比※2 (2016.3.31)	変動※3 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス		
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	C	屋外集積	0.01未満	54,900 m ³	-800 m ³	①②③④⑤	87%	122800 / 177900 (69%)	・エリアCの破碎コンクリートの再利用実施。 ・フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日~) 2016年4月末時点で191基(コンテナ)保管。	
		F	屋外集積	0.01未満	5,900 m ³	+300 m ³	⑥	78%			
		J	屋外集積	0.02	4,000 m ³	+400 m ³	⑥	84%			
		N	屋外集積	0.01	4,200 m ³	0 m ³	—	42%			
		O	屋外集積	0.01	26,200 m ³	0 m ³	—	95%			
		P	屋外集積	0.01	26,900 m ³	+1,200 m ³	②	42%			
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	35100 / 57300 (61%)	・エリアE、エリアPの瓦礫類について、リスク低減の観点から 容器収納へ移行中。	
		E	シート養生	0.02	6,700 m ³	+400 m ³	①③⑤	42%			
		P	シート養生	0.01	4,800 m ³	+1,600 m ³	①	53%			
		W	シート養生	0.02	21,000 m ³	0 m ³	—	72%			
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	20300 / 27700 (73%)	・覆土式一時保管施設(第3槽) 瓦礫類収納完了:2015年8月21日 仮覆土:2015年10月26日完了	
		A	仮設保管設備	0.35	1,700 m ³	微増	—	25%			
		E	容器※4	0.02	300 m ³	微減	—	18%			
		F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%			
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器※4	0.03	6,900 m ³	+100 m ³	③⑦	57%	6900 / 12000 (58%)	・主な瓦礫類は、1~3号機建屋で発生した高線量瓦礫類。	
		合計(ガレキ)			185,200 m ³	+3,000 m ³	—	67%			
	伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01未満	14,700 m ³	0 m ³	—	74%	64600 / 81500 (79%)	・工事により発生した幹・根を随時受入中。
			I	屋外集積	0.01	10,500 m ³	0 m ³	—	100%		
			M	屋外集積	0.01未満	39,200 m ³	+100 m ³	⑧	87%		
V			屋外集積	0.03	200 m ³	+200 m ³	⑧	3%			
一時保管槽 (枝・葉)		G	伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	+1,200 m ³	⑨	65%	19600 / 24900 (79%)	・伐採木一時保管槽(エリアG) 追設完了。	
	T	伐採木一時保管槽	0.01	11,100 m ³	0 m ³	—	94%				
合計(伐採木)			84,200 m ³	+1,400 m ³	—	79%					
保護衣	屋外集積	容器	0.06	69,000 m ³	-1,300 m ³	⑩⑪	93%	69000 / 74500 (93%)	・雑固体焼却設備の運用開始(2016年3月18日) ・使用済保護衣等焼却量 299t(2016年4月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 0本(2016年4月末累積) (雑固体焼却施設から固体廃棄物貯蔵庫への搬出準備中)		
				合計(使用済保護衣等)			69,000 m ³	-1,300 m ³	—	93%	



※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由: ①フェーシング工事 ②タンク設置関連工事 ③1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ④破碎コンクリートの再利用 ⑤エリア整理 ⑥焼却対象物の受入
 ⑦水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑧瓦礫一時保管エリアP拡張工事 ⑨チップ化処理による枝葉の受入 ⑩焼却処理 ⑪使用済保護衣等の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2016.5.19時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2016.4.21)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済バessel	734 本	+8 本	3165 / 6239 (51%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日)	
		第二セシウム吸着装置使用済バessel	164 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,153 基			+13 基
			増設	852 基			+14 基
		高性能多核種除去設備使用済バessel	高性能	73 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	9 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済バessel及びフィルタ類		180 本	+2 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,169 m ³	+31 m ³	9169 / 11100 (83%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・H2エリア(9,700m ³)の撤去計画が認可。(2015年10月1日) これまで、8,900m ³ を供用廃止。 ・保管量に「タンク底部~水位計0%の水量(DS)」を含んでいない。(約100m ³)	

